『計量記念日ポスター』『計量のひろば』を作成配布

「計量記念日」へ向け、計量の重要性と継続性をアピール

日本計量振興協会は、『計量記念日ポスター』と啓発パンフ『計量のひろば』を作成し、関係団体等へ配布した。11月1日の「計量記念日」に向けて、盛り上げをはかる。経済産業省も『計量記念日ポスター』を作成し、関係機関へ配布した。

計量のひろばNo.60「キログラム」の定義改定を特集

計量記念日にあわせて日本計量振興協会が毎年発行している、計量啓発パンフレットの『計量のひろば』。A4判3つ折り、両面カラー印刷。「きかんしゃトーマス」を起用し、ポスターとの統一性をはかっている。

■改定内容や影響を解説

今回の特集は、2018年の第26回国際度量衡総会で、質量の単位である「キログラム」の定義の改定が審議される予定であることから、定義改定が必要な理由、改訂の内容や、改定による影響などを適確に解説している。

テーマは、▽なぜ改定が必要なのか▽どのように改定するのか▽キログラム原器による定義と何が違うのか▽暮らしへの影響▽改定後のSI基本単位。

■なぜ改定が必要なのか

120年以上も質量の単位「キログラム」の定義を実現してきた国際キログラム原器が、基礎物理定数に置き換わるという大きな改定になる。

SI基本単位のなかで唯一、質量の単位である「キログラム」は、キログラム原器という「物体」で定義。このキログラム原器は、1889年以来50μg程度変化している。

物体であるキログラム原器は破損の危険性もあり、また原器としても不安定なので、キログラムを他のSI基本単位の定義と同様に、不変な定数（基礎物理定数）による定義に改定する。

■どのように改定するのか

キログラムは基礎物理定数の「プランク定数」で定義することになる。

■キログラム原器による定義と何が違うのか

プランク定数の数値を決めれば、キログラム原器の長期的な変動の影響を受けることなく、「不安定性」から開放される。また、いつでもどこででもキログラムを実現することができる。

■暮らしへの影響

現在のキログラム原器の質量がそのまま引き継がれるため、日常的な生活への影響はほとんどない。心配は不要である。

今回の改定により、微小量や微小領域での新たな計測技術の基盤となることが期待されている。

■改定後のSI基本単位

2018年の国際度量衡総会では、質量の単位（kg）だけでなく、電流（A）、熱力学温度（K）、物質量の単位（mol）についても、それぞれの定義の改定案が審議される。

『計量のひろば』の解説は、「国際度量衡局を含めて計量関係者は、「今回の改定が現行システムの安定性を確保しながら、精度の向上と将来の技術革新を支える」ことを多くの人々に理解してもらい、同時に計量（科学的な側面も含めてMetrology）の重要性を再認識してもらう機会となることを願っている」とまとめている。

■標語なども掲載

『計量のひろば』には、昨年度の「計量啓発標語」と「何でもはかってみようコンテスト」の最優秀作品賞、優秀作品賞が紹介されている。

■4万4000部作成

『計量のひろば』は4万4000部作成。全国の計量協会や計量行政機関、計量関連機関などへ配布した。

今年の計量記念日ポスター きかんしゃトーマスを起用

日計振作成のポスター

今年の計量記念日ポスターは、トップクラスの知名度を誇る「きかんしゃトーマス」を起用。

大きさはA2判。

キャッチコピーは「つづく、計量の旅！」。正しい計量は現在の文化や経済の基本として欠かせないものであり、それは過去も現在も未来も変わらない。

計量の重要性が不変であることを「線路は続くよ、どこまでも」という鉄道のイメージと重ね、未来志向のメッセージとして表現した。

「きかんしゃトーマス」は1945年、原作者であるイギリスの牧師・ウィルバート・オードリーが子供たちに夢を与えたいという思いから描いた絵本「The Railway Series」から始まり、70年を超える歴史がある。

経産省作成のポスター

現在では世界185の地域、30カ国語で放映されている。日本でも現在、NHKのEテレで毎週日曜日、17時30分からアニメが放映されている。

■オリンピックを意識した経産省のポスター

経済産業省も毎年、11月1日の計量記念日と、計量強調月間をアピールするポスターを作成している。大きさはA2判。480枚作成して、計量関係行政機関、計量関係団体等に配布している。

デザインは、オリンピックを連想させながら、その競技シーン等に関連する単位記号を配して、計量をイメージしてもらうもの。

日計振と経済産業省の、2種類のポスターが、相乗効果を発揮する。

ポスターは2万6300枚制作され、各地の計量協会会員、計量関係機関、地方計量行政機関や計量関係団体などへ配布された。

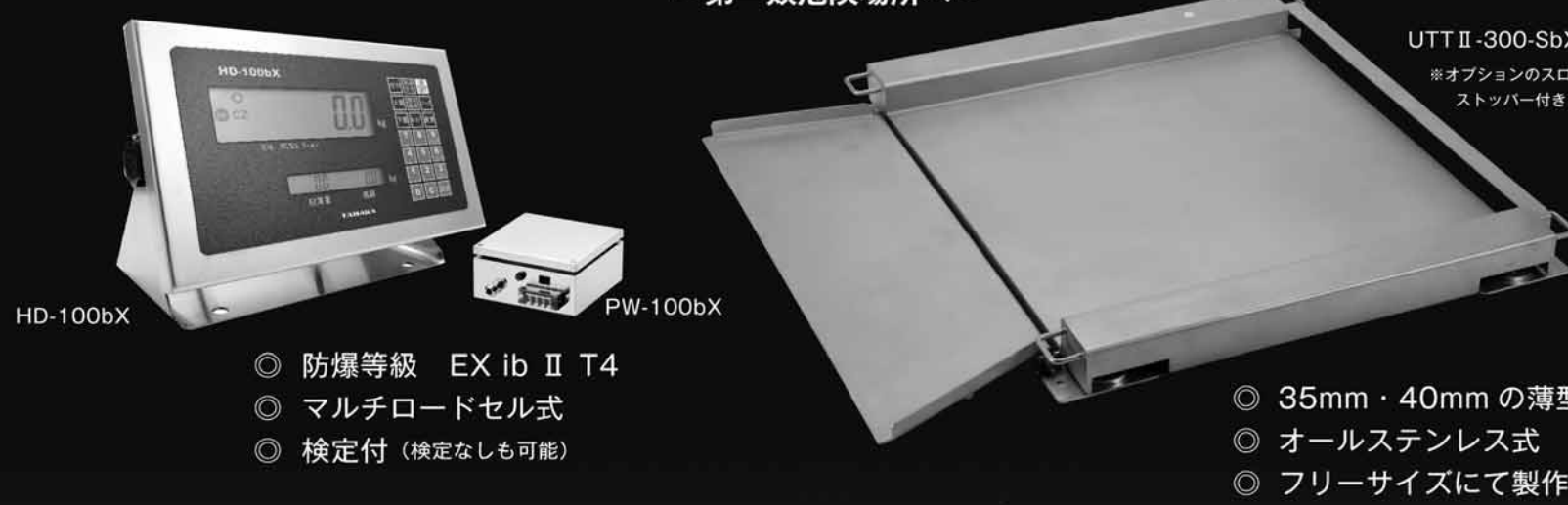
日本計量新報

計測と科学
毎週日曜日発行
日本計量新報社
東京都千代田区神田錦町3-11-8（武蔵野ビル）
〒101-0054 TEL 03-3295-7871
FAX 03-3295-7874
http://www.keiryou-keisoku.co.jp/
振替口座　00140－5－12935
購読料年間25,000円（消費税別）

定量計量専用機
Pack NAVI
速くハカル、
楽にツメル

Yamato
大和製衡株式会社　tel:078-918-5577
http://www.yamato-scale.co.jp/

今週の主な記事

TANAKA
「はかる」を支える。タナカの技術
本質安全防爆計量機
～第一類危険場所へ～


◎ 防爆等級　EX ib Ⅱ T4
◎ マルチロードセル式
◎ 検定付（検定なしも可能）
◎ 35mm・40mmの薄型仕様
◎ オールステンレス式
◎ フリーサイズにて製作可能
ありそうでなかった防爆の新しいかたち。
株式会社田中衡機工業所
URL　http://www.tanaka-scale.co.jp/
本社・新潟支店　〒959-1145　新潟県三条市福島新田丙2318-1　TEL：0256-45-1251　FAX：0256-45-2204
東京支店　〒101-0061　東京都千代田区三崎町2-6-7　TEL：03-3263-4531　FAX：03-3262-6918
関西支店　〒564-0063　大阪府吹田市江坂町2-13-2　TEL：06-4861-2266　FAX：06-4861-2277
東北営業所　〒983-0021　宮城県仙台市宮城野区田子3-1-5　TEL：022-388-6401　FAX：022-388-6402
福岡営業所　〒816-0823　福岡県春日市若葉台西6-47　TEL：092-572-1822　FAX：092-571-2462